

日本労働年鑑 第51集 1981年版  
The Labour Year Book of Japan 1981

第二部 労働運動

XIV 政党

5 日本共産党

3 大会・中央委員会

(1) 大会前の中央委員会

第一四回大会八中総～一一中総

共産党の大会は他の政党のように毎年は開かれず、規約では「二年または三年のあいだに一回ひらかれる」と定められている。中央委員会は「党大会から党大会までの指導機関」で、一年に二回以上開くことに定められている。七九年七月から八〇年六月までの一年間に開かれた中央委員会総会は第一五回大会前に四回、大会以後に三回の計七回であった。一中総をのぞき、いずれも党本部で開かれ、中央委員、准中央委員が出席した。なお、回数は通し番号ではなく、大会ごとに改められている。

八中総 は七九年八月二四、二五の両日開かれた。この中央委員会は総選挙にむけて、最終的な態勢を固めるためのものであった。不破書記局長が党務報告と「第八回中央委員会総会決議案」の提案をおこない、緋田選対局長が「総選挙の勝利をめざす活動について」の報告をおこなった。報告、決議の詳細は『理論政策』第一四〇号(七九年九月)参照。

九中総 は七九年一〇月一五日から一七日までの三日間、開かれた。この総会は一九議席から四一議席に躍進した総選挙の総括をおこなうためのものであった。また、この総会で第一五回党大会を八〇年一月一五日に招集することが決定された。詳細は『理論政策』第一四二号(七九年一月)参照。

一〇中総 は七九年十一月一九、二〇日の両日、開かれた。総会は第一五回大会決議案や党規約の改正案などを決定した。総会の冒頭宮本委員長は、公明党との接近をはかっている総評指導部をきびしく批判し注目された。詳細は『理論政策』第一四三号(七九年十二月)参照。

一一中総 は七九年十二月三日に開かれ、第一五回党大会の招集日を八〇年二月二六日に変更することを決定した。

日本労働年鑑 第51集 1981年版

発行 1980年11月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始

